



品川区議会定例会が始まりました



本会議にて共産党より2名が質問
9月16日より品川区議会第3回定例会が始まりました。
共産党より、おくの晋治区議となかつか亮

豪雨災害、本会議で取り上げました コロナ感染、羽田新ルート、

区議が一般質問。日頃から区民より寄せられている意見や要望をもとに政策提案しました。

コロナ「在宅死」

都内の新規感染者は8月に連日5千人を越えるなど感染爆発が。医療崩壊により在宅死が相次ぎ、8月だけで31人が死亡しました。緊急搬送困難事案は8月末の1週間で1703人と過去最多。品川区内でも自宅療養者が8月中旬に過去最大1455人になるなど医療ひっ迫は深刻です。そこで共産党はコ



ナ特措法に基づき臨時の医療施設の設置を提案しました。特措法32条では「医療施設が不足し、医療の提供に支障が生じると認める場合には（中略）施設を知事が臨時に開設し、医療を提供しなければならぬ」とあります。ところが小池都知事は設置を拒否。（裏）

切実な区民の願いを区政に 日本共産党

そこで共産党は、品川区として都知事にコロナ特措法に基づく臨時の医療施設を設置するよう提案したのです。

ところが品川区は「都はこれまでも医療体制の充実に努めており、臨時医療施設を都に要望することは考えていない」と答弁。多くのコロナ陽性者が医療にかかれず、在宅死が相次いでいる中、臨時の医療施設を設置しない都知事の考え、そして都に区として臨時の医療施設を求めない区の考えは許せません。

必要な医療体制の構築へ、あらゆる力を発揮すべきです。

その他、スムーズなワクチン接種や大規模なP

CR検査、自粛とセットにした補償の充実、生活に困窮する区民や大学生への支援等を求めました。

羽田新ルート

大井町駅より羽田空港の着陸機が低く住宅地を飛ぶ、東大井地域から「心底うんざり」「我慢の限界」「転居したい」との声があがっています。

羽田新ルートの問題は、これまでも繰り返し取り上げてきましたが、ルー



大井町駅前にて共産党区議団と白石都議が羽田新ルート中止の訴え。

ト直下の影響はとりわけ深刻。そこで本会議で騒音測定局がルート下から外れている問題を取り上げ「ルート直下に騒音測定局の設置を」と提案。

ところが区は「環境省のマニュアルに基づき選定。あらたに増設を行う考えはない」と現在2ヶ所からの増設を拒みました。

また「区長は新ルート中止を求めずに、区民の安全安心を守るのか」と質問。しかし区長は答弁にたらず、担当部長が「固定化回避検討会の検討経過を注視する」と述べるだけ。相変わらず品川区長には羽田新ルート中止を国に求める考えが無いことが浮き彫りになりました。

豪雨災害

気候危機と言われる地球規模の気候変動により巨大化する台風や発達した前線などで豪雨災害が各地で相次いでいます。

そこで特に避難や避難生活が困難な高齢者や障害者について、個別の支援計画を提案。区より「検討したい」と前向きな答弁がありました。

また土砂被害で自宅を失った方への支援として、避難所の学校からホテルを借り上げ避難生活ができるようにと提案。区は「区有施設が基本」と述べるに留まりました。

引き続き、防災対策の充実へ力を注ぎます。

また続く委員会審査も頑張ります。なかつか亮

なかつか亮 1975年西大井生まれ／45歳／伊藤小、富士見台中、農大一高卒／イタリア料理厨房6年／27歳初当選／区議5期／予算・決算委員会副委員長、行革特別委員会委員長を経験／党区議団幹事長／家族：妻／29号線取消裁判原告／趣味：旅行

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配布して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。